

(第1号関係様式)

## 回答書

令和8年4月14日  
福島県子ども・青少年政策課長

ふくしま恋活ステップアップ事業公募型企画プロポーザルに係る質問について下記のとおり回答します。

質問事項	回答
<p><b>【質問1】</b> 仕様書 別紙1 イベント概要 開催場所は、全3回同会場でもよろしいでしょうか。</p>	<p><b>【回答1】</b> 全3回同会場は不可となります。 県事業のため、全県民を対象とすることを前提としていますので、全県民が参加しやすい会場設定をお願いします。 (例) 浜通り1回、中通り1回、会津1回 など</p>
<p><b>【質問2】</b> 仕様書 別紙1 イベント概要 開催場所にて、「若い世代の認知度が高い福島県内の屋内施設」とありますが、県有施設である「アクアマリンふくしま」を会場として活用することを検討しておりますが、本事業において使用は可能でしょうか。</p>	<p><b>【回答2】</b> 「アクアマリンふくしま」を本業務の会場として使用することは可能です。 (利用条件) ・閉館後の利用とすること ・閉館後のため、館内飲食店からの飲食物の提供不可(椅子・テーブルの利用、持ち込みの飲食は協議の上、可となる場合がある。) ・会場使用料は団体料金1,550円×利用人数のみ 上記以外の詳細は、<u>契約業者決定後の現地打合せ等にて、「アクアマリンふくしま」の判断となります。</u><b>「アクアマリンふくしま」への問い合わせは不可</b>となっておりますので、施設を利用した企画については、上記以外はすべて可という前提で提案いただいて結構です。 (例) 駐車場の利用可、敷地内全施設の利用可、照明・音響等の利用可 など</p>
<p><b>【質問3】</b> 仕様書 5 委託業務の内容 (2) イベントの企画・実施 ア 開催概要にて、「開催回数：3回以上」「参加人数：各回100名以上」との記載がございますが、例えば開催回数を4回とし、その分1回あたりの参加人数を調整することは可能でしょうか。</p>	<p><b>【回答3】</b> 本業務は「大規模開催」をコンセプトとしていることから、各回につきましては記載のとおり、100名以上の参加規模での実施をお願いします。</p>

**【質問4】**

仕様書 5 委託業務の内容 (2) イベントの企画・実施 イ イベント広報・参加者募集にて、②「紙媒体の広報ツールを制作し、県内の市町村や団体等への配架調整や送付を行うこと」との記載がございますが、配架・送付先となる県内の市町村や団体数は、おおよそ何か所程度を想定されておりますでしょうか。

**【質問5】**

仕様書 5 委託業務の内容 (3) 伴走支援 イ 実施方法にて、「予算額に応じた人数にイベント当日のトータルコーディネートを実施すること。」との記載がございますが、こちらは美容室の利用や衣装費用も含め、すべて当該予算内で対応する想定となりますでしょうか。

**【質問6】**

仕様書 別紙1 イベント概要の参加費にて、「参加費は全額事業費へ充当し、受託者の利益としないこと」との記載がございますが、飲食費や体験費につきましても、参加者からの実費徴収ではなく、事業費の中から負担する想定となりますでしょうか。

**【質問7】**

募集要領 2 プロポーザルに係る事項 (1) プロポーザル参加の要件にて、「福島県内に本店又は支店等を有すること」とありますが、当社の本店所在地は宮城県仙台市となっております。ただし、仙台市から福島市までは新幹線で約30分程度の距離にあり、現地での打合せや業務対応等についても迅速に対応可能な体制を整えております。加えて過去に福島県内での勤務経験もあり、地域事情や土地勘についても一定の理解があることから、業務の円滑な運営に支障はないと考えております。このような条件でも、当該プロポーザルへの参加は可能でしょうか。

**【回答4】**

各種チラシを最大で県庁+8市町村+5か所の14か所(4種×14か所=56回)を想定しています。会場所在市町村とその周辺の市町村等へ紙媒体の送付を想定しております。(伴走支援のチラシは、優先参加イベント開催会場所在市町村を基準とする。)

**【回答5】**

美容室の利用や衣装費用(レンタルのみ、購入不可)等を含めたトータルコーディネートに係るすべての費用を当該予算内で対応する想定としています。

**【回答6】**

参加者からの実費徴収もしくは、事業費の中から負担のどちらでも可能です。ただし、参加費の設定は、若い世代が参加しやすい金額設定となっていることも「企画内容」の審査基準の1つとなっていることにご留意ください。

**【回答7】**

本事業は、当初から県外の事業者も想定していましたが、募集要領が誤っていたため、4月9日付で募集要領から当該要件を削除しましたので、プロポーザルへの参加は可能です。

**【質問 8】**

仕様書 5 委託業務の内容 (4) イベントゲストを活用した情報発信・プロモーションにて、イベントゲストの SNS アカウントの最低フォロワー数の目安などありましたらご教示願います。

同様に、イベントゲストの職業や経歴について制限などありましたらこちらもご教示いただけますと幸いです。(例：公序良俗に反する職業の者はNG、政治家はNG、など)

**【質問 9】**

法人格を有しない任意団体「〇〇〇〇」として参加を検討しております。

1. 募集要領 3 (4) 提出書類⑥⑦において、法人格を有しない場合は団体規約の写し及び名称・所在地・資産総額・代表者氏名等を記載した書類の提出と記載がありますが、

- ① 第3号様式「会社概要」は任意団体の場合も同様の様式での提出でよろしいでしょうか。
- ② 任意団体の場合、「資本金」「資産」等の記載はどのように取り扱えばよろしいでしょうか。
- ③ 任意団体として参加する場合、追加で必要となる書類があればご教示ください。
- ④ 任意団体としての参加は、募集要領 2 (1) の参加要件を満たすものと解して差し支えないでしょうか。

**【質問 10】**

事業経費積算書において、参加費収入が見込まれる場合、積算書内ではどのように表記すべきでしょうか(総事業費から差し引くのか、それとも別枠か)。

**【回答 8】**

最低フォロワー数の目安などはございません。また、イベントゲストの職業や経歴について、常識の範囲内であれば制限などはございません。

ただし、若い世代が魅力的に感じるゲストを活用することが審査基準となっていることにご留意ください。

**【回答 9】**

本事業では法人格を有していない団体による参加も可能です。

法人格を有している団体と同様に実施体制や責任所在等が担保されているか、十分に確認する必要がありますので、ご質問の各項目については以下のとおりです。

- ①指定の様式で提出ください。
- ②「別紙のとおり」と記載いただき、任意団体としてご提出いただく団体規約の写し及び名称・所在地・資産総額・代表者氏名等を記載した書類の中で明示していただければ結構です。
- ③任意団体としてご提出いただく団体規約の写し及び名称・所在地・資産総額・代表者氏名等を記載した書類で確認できない部分(組織体制図、団体としての意思決定方法、会計管理方法など)が分かる書類をご提出ください。その他、必要に応じて追加で提出書類を求めることがあります。
- ④募集要領 2 (1) の参加要件を満たす必要がありますが、法人格を有している団体と同様に実施体制や責任所在等が担保されているか十分に確認する必要があります。確認の結果、円滑な事業運営が見込めない場合には参加不可とする場合があります。

**【回答 10】**

参加費収入及び参加費収入を財源とした支出は別枠でご記載ください。(各回の参加費と参加費を財源としてどのような取り組みを行うかわかるように)

<p><b>【質問 11】</b>  伴走支援の対象者は「3回目のイベント参加予定者」を原則としていますが、1回目・2回目のイベントでマッチングしなかった方を優先的に案内・募集することは可能でしょうか。</p> <p><b>【質問 12】</b>  伴走支援の実施方法について「対面またはオンラインのいずれの方法でも可能」とありますが、評価においてどちらかが優遇されることはありますか。</p> <p><b>【質問 13】</b>  仕様書「5（2）イ(ウ)活用するデジタルツール・アプリ等」および「5（6）個人情報の取扱い」に関連し、使用するデジタルツールやアプリケーションに求められる具体的なセキュリティ基準（ISMS 認証の有無、プライバシーマークの保持、クラウドサービスにおける外部認証の要件等）があればご教示ください。また、県が指定する情報セキュリティ基本方針等、準拠すべき特定のガイドラインはありますか。</p>	<p><b>【回答 11】</b>  1回目・2回目のイベントでマッチングしなかった方を伴走支援に優先的に案内・募集することは可能です。</p> <p><b>【回答 12】</b>  仕様の規定回数を満たしていれば、対面またはオンラインのどちらかが優遇されることはありません。  対面の場合は、「実際に人と接することができる。」、オンラインの場合は、「参加しやすい。」などそれぞれメリットがあると思いますので、より効果的な伴走支援をご検討いただき、ご提案ください。</p> <p><b>【回答 13】</b>  本業務において活用を想定しているデジタルツール・アプリケーションに関するセキュリティ基準については、現時点において特定の認証（ISMS 認証、プライバシーマーク等）の取得を必須要件として定めているものではありません。  ただし、個人情報を取り扱うことから、関係法令等を遵守のうえ、十分な情報セキュリティ対策が講じられているサービスを選定してください。特に、外部クラウドサービスを利用する場合には、当該サービスのセキュリティ対策や運用体制等について適切に確認を行うものとします。  また、個人情報の取扱いについては、委託契約書及び仕様書に定める内容に従うとともに、本県の情報セキュリティに関する各種規程等を踏まえ、適切に対応してください。</p>
--	--

※質問事項が多い場合は本様式に限らずエクセル等の別様式により回答する場合があります